

行動面で気になる子どもの捉え方、接し方

教諭(兼)教育専門監 菅原 咲希子

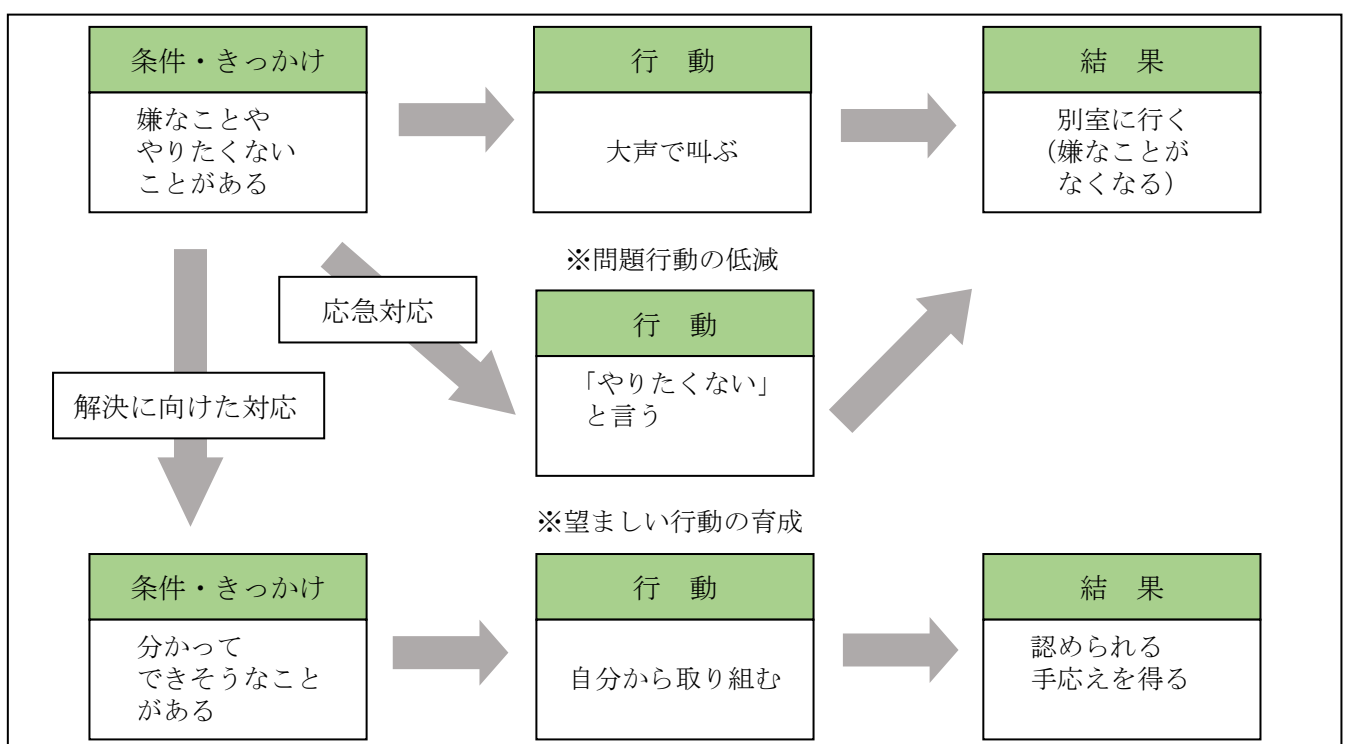
新年度がスタートして2カ月が過ぎました。子どもたちも先生方も新しい環境に慣れてきたころだと思います。そんな中、集団生活の中で活動することに難儀している子どもに気付き、支援に悩んでいる先生方もいらっしゃるかもしれません。

支援が必要な子どもたちの中には、個別的な場面よりも集団生活の中でつまずいたり、困難を示したりする場合があります。もっている力に偏りがあったり、物事の見方や捉え方、感じ方などに特性があったりする場合には、そのことが理解されにくいこともあります。周りにいる人は、適切でない行動が気になって指摘してしまいがちですが、子どもたち自身、うまくいかないもどかしさや不安などから自信がもてなかったり、困り感を感じていたりする場合があります。

どのような場面でどのような行動が見られるのか、きっかけや行動後に得られたことはどんなことだったのか、そこに子どもたちのどんな思いがあるのか、といったことに目を向けて、対応を考えていくことが必要です。適切な行動を増やしていくという視点で、まずは子どもの気持ちを受け止め、適切な行動の取り方を具体的に教えたり、一緒に相談したりしていくことが大切であると思います。子どもたちが、認められたり、成就感を得られたりするような体験を積み重ねていくことができるように、チームで取り組んでいきましょう。

参照：『特別支援教育校内支援体制ガイドライン（三訂版 増補版）』 秋田県教育委員会

『学級担任と特別支援教育支援員の応援サポートブック（改訂版）』秋田県総合教育センター



「行動」の前後に着目した対応例（『特別支援教育校内支援体制ガイドライン』より）



本校の ICT 活用の取組について Ver.1

本校は昨年度に引き続き、「e-AKITA ICT学び推進プラン事業 ICT活用推進モデル校」の指定を受け、ICTを活用した授業改善に取り組んでいます。また、今年度は全校研究主題を「学びを実感し、主体的に学ぶ児童生徒の育成～ICTを有効に活用した授業づくり～」と設定し、全校研究と連携した組織的な取組を行っています。

12月には公開研究会を実施します。詳細は後ほどお伝えします。

本校では、遠隔授業や遠隔会議を効果的に安定して実施するための知識や方法を蓄積するために、ウェブ会議システムや配信サービスを活用した職員研修会や職員打ち合わせなどを積極的に実施しています。

毎週月曜日に行われる職員打ち合わせでは、Zoom ミーティングを使用したりリモート会議を、全校職員研修会では、YouTube ライブを活用するなど、様々な場面で活用しています。



「YouTube ライブ」を活用した
全校研究会の様子

ウェブ会議システム「Zoom ミーティング」
を使用した職員打ち合わせの様子

